与　島

よしま

瀬戸大橋のほぼ真ん中、船だけでなく車でも行ける島。

四国と本州を結び瀬戸大橋の中央に位置する与島。パーキングエリア「与島プラザ」の展望台から眺める瀬戸内海が美しい。プラザ内にはフードコート、売店などがあります。(島内へのマイカーでの乗入は不可)



Information

【基本情報】
▶面積／1.13㎢(令和2年10月1日現在)
▶本土からの距離／坂出から10km
▶人口／65人(令和2年10月1日現在)
▶主な産業／ー
【島内の移動】
徒歩、路線バス
【問い合わせ先】
坂出市 政策課　0877-44-5001



食事

与島プラザ①

与島PA第1駐車場に隣接し、フードコートや道路案内所などを併設。四国中のお土産が揃っているのでお土産探しにはもってこいのスポット。

坂出市与島町字西方587
0877-43-0502(インフォメーション)
フードコート・売店/平日8:00~21:00
(土日祝7:30~21:30)、
架け橋 夢うどん/10:00~16:00、
ジェラート&ソフト工房マリン/10:30~18:00

鍋島灯台

与島の南側にある無人島に立つ灯台。イギリスのリチャード・ヘンリー・ブラントンによって建てられ、令和4年12月には国の重要文化財に指定された。与島パーキングエリアから徒歩10分ほど。

城の鼻

与島の南端。瀬戸大橋を下から見上げることができる与島のビューポイントのひとつ。

小与島

こよしま

与島のすぐ目の前、採石場の風景が残る島。

与島の東側にある小与島は、公共交通機関も定期船もない島。かつて島を支えていた採石の風景に訪れた人はまず驚いて、そして感動します。県指定天然記念物小与島のササユリが群生しています。

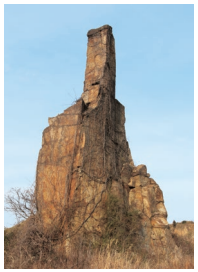
※商店・自販機・公衆トイレはありません。
飲み物などの用意を忘れずに。

Information

【基本情報】
▶面積／0.26㎢(令和2年10月1日現在)
▶本土からの距離／坂出から11km
▶人口／2人(令和2年10月1日現在)
▶主な産業／ー
【島内の移動】
徒歩
【問い合わせ先】
坂出市 政策課　0877-44-5001



採石場跡



10社以上の採石業社が操業していた頃もあった小与島。全島で採石が行われていた。島に残る採石場の跡は、まるでグランドキャニオン。

梶大明神

船着き場の近くにある神社。鳥居と社は島の産物である石で造られている。春祭りには境内にある土俵で、"子ども相撲"が奉納される。

小与島のササユリ



葉がササに似ていることから「ササユリ」と呼ばれる花が咲く。開花期は5月頃。県の天然記念物。近年ではその数が減っているという。

岩黒島

いわくろじま

らせん状のループ橋が美しい、瀬戸大橋でつながる漁業の島。

瀬戸大橋からエレベーターで上陸できる岩黒島は、らせん状のループ橋の眺めが美しい島です。漁業が盛んで、島には魚料理が自慢の民宿があります。歩いて30分ほどで一周できます。

Information

【基本情報】
▶面積／0.17㎢(令和2年10月1日現在)
▶本土からの距離／坂出から13km
▶人口／55人(令和2年10月1日現在)
▶主な産業／フグ漁、ヒラメ漁
【島内の移動】
徒歩
【問い合わせ先】
坂出市 政策課　0877-43-0501



黒浜



島の北側の砂浜には、岩黒島の名前の由来になった黒い岩がゴロゴロ。座れるほど大きなものもある。目の前には瀬戸大橋が見える。

初田神社

島の氏神様。江戸時代に、佐柳島から岩黒島への移住を勧めた初田助十郎さんが祀られている。春は桜並木がきれい。



宿泊

民宿 みはらし①　坂出市岩黒215-1　0877-43-0356
11:30~15:00 ※3日前までに要予約

櫃石島

ひついしじま

塩飽諸島最北端の島は、釣り人も多く訪れる漁業の島。

島内にある"櫃を立てた形"をした岩が、櫃石島の名前の由来。1月下旬には、瀬戸内に春を呼ぶ祭り"もて祭"が王子神社で開催されます。櫃石ももて祭は、香川県の無形民俗文化財に指定されています。

Information

【基本情報】
▶面積／0.93㎢(令和2年10月1日現在)
▶本土からの距離／坂出から16km
▶人口／151人(令和2年10月1日現在)
▶主な産業／底引き網漁
【島内の移動】
徒歩、路線バス
【問い合わせ先】
坂出市 政策課　0877-44-5001



王子神社

ももて祭の舞台。境内には、お伊勢まいりから持ち帰った小石が、だんだんと大きくなって、現在の大きさになったという「キイキ石」の伝説が残っている。





キイキ石は今でも成長を続けているとか

櫃岩

島の南部にある櫃(ひつ)を立てたような巨石。島名の由来となっている。源平合戦で、屋島の戦いに敗れた平家の武者が、落ちのびる途中にこの石の下に宝物を隠し、3人の姫を島にかくまったと伝えられる。

